

大会実施要項

【試合について】

- 1 本大会は、2026年度公認野球規則を準用する。
なお、各グラウンドルールについては、試合を担当する球審の指示に従うこと。
- 2 試合は6イニング制とし、決勝戦以外は1時間20分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
なお、同点の場合は延長戦を行わず、抽選で勝敗を決定する。
また、3回以降10点以上、4回以降7点以上の点差が生じた場合は、コールドゲームを適用する。
- 3 決勝戦は6回、若しくは1時間30分とし、1時間30分を過ぎたら新しいイニングに入らない。
なお、同点の場合は、特別延長戦（継続打順で無死1・2塁）を1回行い、更に同点の場合は、抽選で勝敗を決定する。
また、3回以降10点以上、4回以降7点以上の点差が生じた場合は、コールドゲームを適用する。
- 4 投手は、1日70球を超えて投球することはできない。（60球に到達した時点で球審より通知します。）
但し、投球数が70球（60球）となった時点の打者（打撃途中の代打を含む）が打撃を完了する、若しくは打撃途中で3アウトとなり攻撃が終了するまでは、70球を超えて投球できるものとする。
- 5 ベンチは、抽選番号の若番チームを1塁側とする。
- 6 大会使用球は、ケンコーJ号球とする。（試合球は、主催者側で準備します。）
- 7 審判は3人制とし、球審は碧南少年野球育成連盟審判員が行い、塁審は試合を行う両チームから1名ずつ出して行う。（3人制審判が未経験のため、4人制審判を希望する場合は、大会本部へ申し出て下さい。）
審判を行う方の服装は審判服着用を基本としますが、審判服が着用できない場合は、その旨を大会本部へ申し出て下さい。
なお、決勝戦、及び3位決定戦については、碧南少年野球育成連盟審判員で行う。
- 8 試合を行うチームは、試合開始時間の30分前までにグラウンドへ集合すること。
なお、試合開始予定時刻の20分前に先攻後攻を決めることとし、監督・主将はメンバー表を持って大会本部へ集合すること。
- 9 打者・走者・ランナーコーチのヘルメット、金属バット、捕手の防具は、全て連盟公認のものを使用すること。
- 10 ファウルボールの処理は、ボールの飛んだ側のベンチで処理し、バックネット側は、原則として攻撃側にて処理すること。
- 11 ベース盤は、固定とする。
- 12 2026年度公認野球規則に基づき、DH制を適用します。（大谷ルールは適用外）
- 13 D.E（ディ・エントリー）制を適用する。
《D.E制について》
 1. 「D.E」と球審に宣言し、1打席のみ出場できる。
 2. D.E選手は、1回の打席を完了しなければならない。
なお、出塁した場合、走者として本塁ベースを踏むか、攻撃イニングが終了するまで交代できない。
 3. 守備には就くことができない。（D.E通告前の選手が守備に就くこと。）
 4. どの回、どの打順でも出場できる。
 5. 走者のアウトで打撃が完了しなかった場合、再度、指名を受けることができる。
 6. 監督は、「D.E」か「代打」かを明確に球審へ通知すること。

- 14 試合前のシートノックは行わない。
- 15 イニングの先頭打者は、準備投球中、ネクストバッタースサークル内で待機すること。
- 16 ネクストバッタースサークル内では、立った状態でバットを下ろして待機すること。
- (注) ネクストバッタースサークル内での素振りは禁止とします。
- 17 試合中における選手の補助（控え選手との投球練習・準備投球の代理捕手など）は、原則として控え選手が行うこととするが、補助できる選手がいない等の申し出があれば、背番号を付けたコーチが補助することを可能とする。

【チーム・選手に関すること】

- 18 ベンチ入り選手は、1チーム20名以内とし、背番号を付けること。
- 監督・コーチの背番号は、30・29・28とし、ベンチ入りは6名以内とすること。
- 但し、大会本部への許可を得て、ベンチ入り6名とは別に選手への介助のための父母（1～2名）がベンチ入りすることは認める。
- 19 試合前の先攻・後攻決めにあたっては、監督・主将が大会本部へ集合し、メンバー表を4部（大会本部用・球審用・相手チーム用・自チーム用）提出すること。（メンバー表には、監督名・主将名・選手ふりがな・控え選手等、明確に記入すること。）
- 記入の無い選手は、試合に出場できません。
- また、4年生以下の選手がいる場合、必ずメンバー表に学年を明記すること。
- 当日、代理監督で試合を行う場合、メンバー表へ代理監督者の名前を記入のうえ、提出時に大会本部・球審・相手チームに伝えること。
- 20 選手交代、判定に対するアピール等は、監督（代理監督を含む）、及びプレーに関わった当該選手が行う。
- 21 選手は、スポーツ保険に加入していること。

【表彰】

- 22 表彰は、優勝・準優勝・3位とする。

【その他】

- 23 夏期における大会実施であり、熱中症対策に万全を期すため、原則、1日1試合として極力気温の低い午前中の時間での開催とします。(第1試合：8時開始、第2試合：10時開始)
- なお、熱中症警戒アラートの発出で指標が「危険」となった場合、試合を一時中断し、選手の体調把握を実施したうえで継続／中止の判断を行います。
- また、本大会の試合においては、試合開始40分を目途に「クールダウンタイム」として5分間の休憩を取るとともに、大会本部、及び該当試合の球審によりイニングが長時間に及ぶと判断した場合、試合を一時中断し給水時間（5分程度）を取ることとします。（クールダウンタイムは試合時間には含まず、給水タイムは試合時間に含めます。）
- 24 他の大会日程等チーム都合による大会日程・試合時間の変更については、原則、認めない。（参加できない場合は棄権とし、棄権したチームについては、次年度開催の当大会への参加を認めない。）
- 但し、雨天等による日程の延期や学校関連の行事等により真にやむを得ない事由と判断される場合は、大会本部において協議のうえ、大会日程・試合時間を変更することも有り得る。
- 25 雨天等による試合の有無については、大会本部にて試合当日の朝6時に決定し、本大会グループLINEにて通知する他、碧南少年野球育成連盟HPへも掲載しますので確認をお願いします。

【碧南少年野球育成連盟HP】<https://www.netto.jp/hekinanikusei/>

- 26 試合前の練習におけるフルスイングでのバッティング練習は、危険防止の観点から禁止とする。
(注)グラウンドの広さにより不公平が生じることを回避するため、本大会においては全て禁止とします。
また、グラウンド内へは試合で使用する用具以外は持ち込まないこと。
- 27 試合後におけるグラウンド整備については、試合を行った両チームで実施願います。
- 28 グラウンド内外を問わず、万一負傷などの事故が発生した場合、応急処置は行うものの、その後の治療等については、主催者側はその責を負わない。
- 29 大会を通じて選手は、スポーツマンとしてのマナーを守り、正々堂々とプレーすること。
- 30 グラウンド（応援席含む）には、ゴミ等を残さず、必ずチームで持ち帰ること。
- 31 グラウンド外から選手への指示・指導を行うことは禁止とします。
(注) 該当者がいた場合は、大会本部・審判員からその場で注意喚起します。注意を促した後も改善されない場合は、グラウンド外へ退場させる場合があります。

(本大会の問い合わせ先) 碧南少年野球育成連盟 運営委員長 阿知波 健二
携 帯 090-6581-1176
碧南少年野球育成連盟 事務局長 杉浦 吉行
携 帯 090-4084-6131